

特集 ジャケ買い

あす 『明日の世界が君に優しくありますように』

しおみなつえ
汐見夏衛／著 スターツ出版

今回、「ジャケ買い」というテーマで一番に目に留まったこの本。表紙の絵に惹かれました。交通事故をきっかけに親との関係が冷えてしまった主人公が、田舎の生活でその心を解きほぐしていく物語。心温まるストーリーとなっております。主人公の「青春」をみなさんも感じてみてはいかがでしょうか。

『ペギー・スー』 既刊11巻

セルジュ・ブリュソロ／著 金子 ゆき子／訳 角川書店

ハリーポッターに没頭していた高校時代、人生で初めてジャケ買いしたのがこの作品です。表紙の女の子の瞳に思わず吸い込まれてしまったのを今でも覚えています。

地球上でただ1人、特別な能力をもった女の子が奮闘する、フランス生まれのファンタジーです。(ちなみに続きは図書館で借りました。)

かいみょうたんてい そ と ば 『戒名探偵卒塔婆くん』

たかどの まどか
高殿 円／著 KADOKAWA

図書館の棚をながめている時、目に飛び込んできたこちらの作品。ポップでインパクトのあるタイトルに惹かれてジャケ借りしました。

個性豊かな登場人物たちが、戒名を通じて知るそれぞれの人生の物語。言葉に込められた様々な想いに触れてみてください。

『だいじな本のみつけ方』

こすえ
大崎 梢／著 光文社

この本は、タイトルが気になって手に取り、本がたくさん舞っている表紙を見て選びました。まだ発売されていないはずである、主人公が大好きな作家の最新刊を、学校で見かけたところから物語が始まります。登場人物と、彼らが大切にしている本が活躍する物語で、「本っていいな」と思わせてくれます。

皆さんには大切な本はありますか？是非手にとって読んでみてください。

